

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		かなり余裕があると思う。 →定員10名で40㎡必要なところ、プレイルームは45.20㎡あります。また、状況に応じて男子更衣室や女子更衣室を使う等工夫しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		その日の状況によりきびしい時もあるが、依頼できる非常勤の方がふえているため安心。ボランティアさんなどもいらっしゃる、とても手厚いと思います。 →職員は一日5名以上配置しています（職員の体調不良等で状況により難しい日もあるが）。また、土曜活動では更に職員を配置しボランティアの方にもご協力いただいています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		バリアフリーではなく、療育の点で配慮しすぎない空間としている。利用者の将来等を考えて、あえて構造化していないところもあり、配慮しすぎないようにしていると思います。あえてバリアフリーになっていない所もあるが、療育的に良い点もあり問題ないと思う。 →建物自体はバリアフリーにしていない場所があります。玄関等の段差は療育の観点からあえてフラットにしていますが、階段は滑り止めを設置しています。また、その都度利用者にあった対応を心がけています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		利用者が安心し、また、安全に活動できるよう室内の清掃や環境づくりにできるだけ努めたいを思っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個室もあり、必要があれば個別に対応していると思う。 →必要に応じてプレイルーム以外に男子更衣室や女子更衣室等を使用しています。
6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	日々のカンファ・週一・月一のカンファにて情報の共有ができています。ミス等があった際、再発防止のための議論がされています。 →まだまだ不十分といえるので、引き続きの課題です。	
7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		→保護者の方々の意見や要望をできるだけお聞きし、改善に努めています。利用者の成長を考え療育の観点から意向に沿うことが難しい場合がある為、その際は保護者の方と話し合いの時間をつくり理解や協力を得られるように努めています。	

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	カンファレンスではほかのスタッフの方にアドバイスをもらって業務改善につなげています。 →必要に応じて代表理事や施設長が意見等を聞く機会を設けておりますが、まだまだ不十分な点があると思いますので、更に改善していけるよう努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		→前は2022年度に受審しました。今回は2025年度に受審します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修の紹介や受ける機会がある。 →外部研修は主に調布市福祉人材センターの研修に積極的に参加しています。また、内部研修の障がい者虐待・権利擁護、利用者のケースの検討、年に2回外部講師を招いて行っています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		十分に議論して作成されていると感じます。 →ホームページにて公表しています。保護者の方々には個別面談の際に説明します。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		→年に2回見直しをし、個別面談を行いながら個別支援計画を作成しています。また、必要に応じて保護者の方と対面や電話で面談の機会をつくっています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		計画作成の前にスタッフの意見を聞いている。 →職員に利用者の日頃の様子について気がついたことや意見を聞いています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		→個別支援計画を職員間で共有し、連携をとりながらよりよい療育をめざしたいと思います。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	フォーマルアセスメントが行われているかはわからないが、日々の活動の中でインフォーマルなアセスメントは行われている。 →フォーマルアセスメントについて、日々の活動の中で行うことは時間的にも体勢的にも難しさがありますが、必要に応じて保護者の方に通院した際の検査結果や様子について伺っています。職員皆が共有する点についてまだまだ不十分ですので、共有できるよう努めます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		→利用者の実情に合わせて計画を立てています。“適切”かどうかについては不十分な部分があるかと思いますが、より良い計画を作成できるように努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	個々の役割をもって行うが、もう少し「チーム」で行ってもよいと思う。 十分、MTGで議論していると思います。 →それぞれが役割を担っており日々の活動の中でそれぞれが責任をもって計画していくことが大切なことと考えます。その中で必要に応じて意見交換や総括等としていき、充実した活動をめざしたいと思います。

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		<p>曜日もバラバラになるように調整しながら様々な活動を行っていると思います。</p> <p>→今後も利用者が多様な経験ができるようにプログラムを考えていきたいと思います。外出の際は、できる限り公共交通機関を使い、社会性を身につけられるようとりくみも大事にしていきたいと思います。</p>
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		→日々利用者の実情に応じて、集団活動だけではなく個別的なとりくみを行っています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	<p>支援内容という観点で、特定のメンバーは行われるが、必ずではない。</p> <p>開始前の打合せは、時間や送迎の関係でできていないことが多いが（非常勤のため）、活動に応じて臨機応変に連携がとれていると思う。</p> <p>→毎日午前中に時間をとって行っています。限られた時間の為、内容が不十分な場合もあると思いますが続けています。非常勤には打合せの記録ノートに目を通してもらうようにしています。</p>
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	<p>その日のふりかえりはスタッフが限られているが後日、必ず行える。</p> <p>振り返りは毎日できないが、気付いた点等は時間を見て都度共有することもある。</p> <p>→職員の勤務時間や態勢・業務の兼ね合いで活動終了後に行うことは現実的に難しいです。次の日の午前中に行ったり、週1回のカンファレンスで日々の振り返りや意見交換をしています。</p>
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	→記録については不十分な点がある為、書き方や内容も含め効率的に行えるよう改善していきます。
23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		→年に2回見直しを行い、個別面談を行っています。また、必要に応じて保護者の方と対面や電話で面談の機会をつくっています。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1	<p>非常勤の為、あまり理解できていない部分があります。</p> <p>→できるだけそのように努めています。非常勤の方にもきちんと周知できるようにしていきたいを思います。</p>
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	<p>自己決定の場は少なく感じるが、個々の能力にあわせできる場面をスタッフが工夫できるとよい。</p> <p>→学校休業日の活動時間が長い日に「自由プログラム」として機会を設けています。利用者の発達段階や実情により、“選択”することが難しかったり、ものごとにとりくむ姿勢が難しい利用者もいる為、状況に応じて行います。また、職員も日々工夫しながら力量をつけていく必要があります。</p>
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		→必要に応じて施設長や管理者兼児童発達管理責任者が参加しています。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	→様々な関係機関と連携をとることは、とても大切なことと考えます。必要に応じて連携を図ります。

28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2	→学校や先生と直接情報共有することは現実的に難しい面があります。ですが、できるだけ連携したり共有できるように努めています。また、学校主催の連絡会や利用者の支援会議には積極的に参加しています。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		→必要に応じて積極的に連携しています。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		→就労先へ引き継ぎシートを作成し、お送りしています。また、保護者から希望があった際や就労先より連絡があった時は、これまでの支援経過を伝えたり面談を行っています。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	→外部に研修に積極的に参加しています。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	→今年度も調布市立第五中学校2年生の職場体験の受け入れを行いました。利用者の方にとっても中学生にとってもお互いにより経験となりました。また、放課後等デイサービスについて地域の方に知ってもらえるよい機会になりました。次年度も積極的に職場体験の受け入れを行う予定です。 学童クラブや児童館との交流について、体制的にも時間的にもそのような機会をつくることに難しさを感じています 事業所としましては、学童クラブ・児童館に限定せずボランティアの方々、近隣の方々その他可能な限り、たくさんの人と交流できるよう、活動の中で模索しています。今年度は、土曜活動で地域の方にご協力いただきながらコンサートやウォークラリーを行いました。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	→必要に応じて参加しています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		→日々、連絡帳や電話・メール・送迎時とうで保護者の方とできるだけ共有できるようにしています。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	そもそも放課後等デイサービスで「家族の対応力向上」の支援まで担う必要があるのかと思う。プログラムとしては行われていない？面談等でお話できる機会を設けていると感じます。家族に対する支援等、放デイではやるのはむずかしい。 →ペアレントトレーニングにつきましては、利用者の方々の実状をふまえ必要に応じて行っています。保護者会等で保護者の方同士が交流できる機会はつくっておりますが、ご家族が参加できるような研修会等の機会は今現在行っておりません。事業所内ではなかなか難しいですが、外部でそのようなお知らせがありましたら、周知させていただきたく思います。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		→面談時に説明を行っています。周知が不十分なことに關しては、お問合せをいただいた際に説明をしています。

37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	9		→できる限り意向をお聞きしています。療育的な 観点から意向に沿うことが難しい場合がある際 は、利用者や保護者の方と話し合いの時間をつく り、理解や協力を得られるように努めています。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説 明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を 得ているか。	9		→個別面談の際に説明を行っています。また、必 要に応じて面談以外でも対面や電話等でお話をし ています。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		→必要に応じて積極定に行っています。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設け る等の支援をしているか。	8	1	きょうだい同士の交流はむずかしい。保護者会で 保護者同士の交流はできていると思われる。 →今年度も保護者会を開催し、保護者の方同士で ディスカッションする機会を設けました。また、 卒会生を囲む会では、卒会された利用者の方・保 護者の方との交流の場を設けました。 今後も保護者同士が交流できる機会をつくってい きたいと思います。 きょうだい向けのイベントを開催することについ ては、様々な事情から現実的に難しさを関じます が、日頃の送迎や引き取り訓練の際にお迎えのご 協力をいただいたり、卒会生を囲む会と一緒にご 出席いただくこともあります。今後もその様な形 をとらせていただきたく考えています。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	9		→苦情の内容に応じて、代表理事・施設長・管理 者兼児童発達支援管理責任者が対応しています。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用す ることにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を こどもや保護者に対して発信しているか。	9		→法人の通信等で発信しています。また、保護者 会等でお知らせしています。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	2	時々裏紙になっている事がある。 →経費削減で裏紙を使用していますが、くれぐれ も気をつけたいと思います。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	9		→利用者の実情を理解し、また、家庭の事情を理 解し考えながらできる限り配慮しながら行ってい ます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。	8	1	ボランティアさんがたくさんいらっしゃっている と思います。 →調布福祉まつりに参加し、地域の方や他事業所 の方との交流の機会を持つことができました。ま た、土曜日活動で深大寺陶芸教室の皆様にご協力 をいただいたり、ウォークラリーで地域のお店の 方にご協力いただきました。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	9		→マニュアルを策定し、書類を配布したり保護者 会や職員のカンファレンス等で説明し共有してい ます。ですが、まだまだ周知が不十分な為、きち んと周知してもらうために発信の仕方を引き続き 模索していきます。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発 生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って いるか。	9		→策定し見直しをしています。今後もより良い計 画の見直しと充実した訓練をめざしたいと思います。

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		→契約時の面談でお聞きしたり、保護者の方に生活記録表（年1回）記入していただき職員間で共有しています。また、必要に応じて個別に連絡をしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		→今現在医師の指示に従いながら対応する必要がある利用者はいないが、今後必要に応じてきちんと対応していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		→日々安全管理については徹底し、必要に応じてカンファレンス等で職員の連携を図っています。また、不十分な点があるあるかと思しますので、都度改善に努めたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		→利用者の安全を確保しながら、日々活動しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		→都度ヒヤリハットを作成し、職員間で目を通してしています。また、必要に応じてカンファレンスで共有・検討しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		→外部の研修に参加したり法人内で研修を行っています。また、年に一度チェックリストを用いて職員の対応チェックを行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		→今現在、個別支援計画に記載するような事例はありません。今後、必要に応じてその都度保護者の方とやりとりをしていきたいと思います。